

時代と地域のチカラ

参加無料

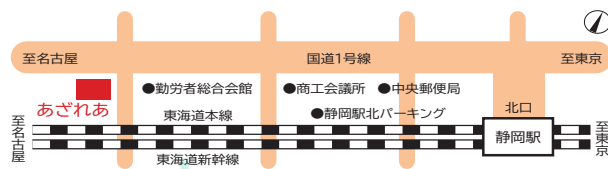
昭和100年という時代の節目にある私たちは、地域社会を形作ってきた事実を振り返るとともに、「つくった地域社会」を見つめ直す時期を迎えています。今あらためて、積み重なる記憶と課題、結びつく知と実践を手がかりに、地域のチカラを探ります。

時間○14:00~16:00

会場○あざれあ(静岡県男女共同参画センター)6F大ホール

定員○各回250人

[住所]〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1
[アクセス]JR静岡駅から国道1号線沿いに西(安倍川の方)へ徒歩9分



※会場の駐車場はご利用いただけません。公共交通機関をご利用ください。

第1回7/12
(土)**地域で起こすイノベーションとは**

坪井 秀次

(静岡大学 未来創成本部/グローバル共創科学部 准教授)

皆さんの地域でイノベーションを起こすにはどうしたらよいのでしょうか？実は、常識を捨てて、新たな結合を起こすための思考の転換と訓練が必要なのです。その方法をお伝えするとともに、イノベーションを起こしやすくする組織づくりにも迫ります。

第2回8/2
(土)**放送メディアは「時代」とどう向き合ってきたか**

丸山 友美 (静岡大学 情報学部 准教授)

放送事業が始まって100年。ラジオとテレビは私たちにたくさんの情報を届けてきました。それはどんな方法で、誰によって行われてきたのでしょうか。本講座ではその営みをたどり直すため、時代を先取りしたり時代と闘ったりした〈放送人〉の姿から考えます。

第3回8/23
(土)**身近な公共施設の今後のあり方を考える**

佐藤 正志 (静岡大学 教育学部 准教授)

人口減少や少子高齢化への対応は、地方自治でも取り組みが求められています。中でも公共施設の維持管理や運営のあり方は、早急に検討しなければならない課題となっています。当日はいくつかの事例を見ながら、今後の公共施設のあり方を考えてみたいと思います。

第4回9/13
(土)**住民自治の可能性を問う**

内山 智尋

(静岡大学 未来社会デザイン機構 准教授)

少子高齢化、人間関係の希薄化、地域力の衰退、生活基盤の弱体化など、様々な課題が私たちの生活に影響を及ぼしています。本講座では、生きにくい社会をどう豊かにしていけるか、地域福祉政策の変遷や事例紹介等を通じて「住民自治」の意義や可能性を探ります。

第5回10/4
(土)**戦後の静岡県における就職と労働**

長谷川 達朗 (静岡大学 人文社会科学部 講師)

高校や大学から就職する時、本人がそれまで重ねてきた努力が「結果」として現れる。このような考え方が、いまの社会の常識です。しかし、こうした社会の仕組みは、いつ当たり前になったのでしょうか。静岡の戦後史から考えたいと思います。

**申込方法
申込先**

部門ホームページの申込フォームからお申込みください
(先着順)。

WEB <https://www.lc.shizuoka.ac.jp/event004202.html>
※右下のQRコードからもお申込みいただけます。

※参加希望日、氏名(フリガナ)、メールアドレス、郵便番号、住所、電話番号を入力してください。
※ご提供いただいた個人情報は本講座の運営および公開講座に関する情報の送付のみに使用させていただきます。
※本講座は県民カレッジ対象講座です。

お問い合わせ

静岡大学地域創造教育センター
地域人材育成・プロジェクト部門

TEL 054-238-4817 [平日9:30~16:00]

メール: kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

静大 生涯学習

検索



主催／静岡大学、読売新聞静岡支局